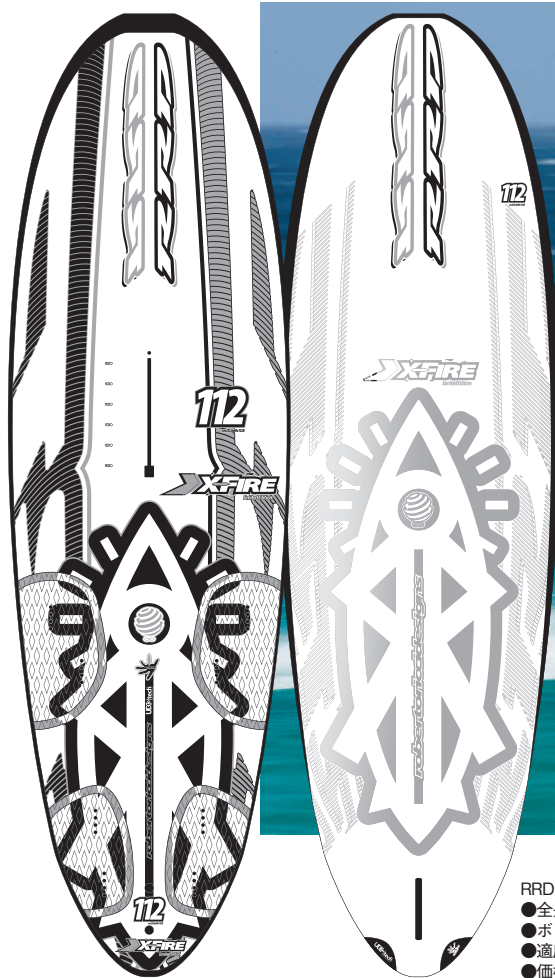


RRD X-FIRE LTD



フィニアンズの絶好調を支える最速のスラロームボード



RRD X-FIRE 112 LTD
 ●全長235cm ●最大幅69.5cm
 ●ポリウレタン / 112ℓ
 ●適応セイルエリア5.5-8.0㎡
 ●価格(税込) ¥281,400

**スラロームのRRD復活！
 ランキング2位の原動力、
 それがこのX-FIRE LTDだ。**

かつてRRDといえばスラロームボードが代表的だった。それがレーシング最前線からの撤退やウェイブやフリース

スタイルへのシフトによって、そのイメージは薄くなってしまった。そのRRDのスラロームイメージが再び復活した。それは前スピード記録保持者フィニアン・メイナードがチームに加わり、その彼が今年、世界のスピード&スラロームシーンで大活躍を見せているからだ。

ここ数年、PWAのスラロームはアントアン・アルボーが絶対的な強さを見せている。一方フィニアンは、良くても4位、悪いときはベスト10からも落ちるセカンドグループに甘んじていた。それが今年最初は韓国4位、コスタブラバ6位とまずまずだったが、その後ポゾの4位から上昇をはじめ、フェルトベンチュラ、アルカチと連続して2位に入り、スラロームランキングもアントアンについて2位と絶好調。ポストアントアンの最右翼に躍り出ている。

また、2009年ISWCスピードワールドカップ世界選手権でアントアン・アルボーやアンダース・プリンダル、ピヨンドンカベック



PHOTOS: JOHN CARTER / PWA



今年、PWAのスラロームにおいて、尻上がりに際立った活躍を見せているフィニアン・メイナード。しばしは常勝アントアン・アルボーに先着してのトップフィニッシュを果たし、現在スラロームランキング2位と過去最高の成績を残している。それもこのボードの性能の高さの証明だ。

らを抑えて堂々の1位。7ラウンド2カットで3.5ポイントの完全スコアで優勝も果たしてしまっ

この好成績を支えているのが、自ら開発したRRDのスラロームボードX-FIRE。最新のスラロームデザインに基づくシェイプラインを持ち、極めて高いポテンシャルの高さを誇る。2010年モデルはこの実践からのフィードバックを受け、さらに戦闘力の高いギアとなるべくR&Dが現在も進められている。

ラインナップは90、102、112、122、135の5つのモデルだが、そのうち112のみ、すでに発表済み。他のモデルは発表はもう少し先の2011年2月に発売予定。112以外のモデルの発表も待ち遠しい限りだ。

